

2010年度 事業報告

(2010年4月1日～2011年3月31日)

2010年度 活動テーマ

日本ヒーブ協議会の原点再考
—ヒーブ視点の実践と変革・挑戦に向けて—

2010年度は、活動テーマを「日本ヒーブ協議会の原点再考 —ヒーブ視点の実践と変革・挑戦に向けて—」と設定し、下記の内容を中心に活動を行った。

- ① 活動の柱である月例研究会においては、各分野（行政・消費者団体・企業等）から講師を招き、「消費者関連団体に学ぶ」「消費者行政」など当会の原点を再考する上で有意義な講演会を行うことができた。この活動を通じて、当会の関係者と積極的な交流を図り、今後の活動につなぐ課題を明確にすることができた。また、分科会活動では、テーマ別に課題・研究に取り組み、ヒーブ視点を磨くとともに会員同士の情報交換を行った。
- ② 調査活動では、第8回「働く女性と暮らしの調査」報告書を発表した。当報告書は、働く女性の仕事や生活に対する意識の変化を捉えたもので、女性が前向きに働き続けるための参考情報となった。
- ③ 広報活動としては、内閣府男女共同参画推進連携会議構成団体として2010APEC女性リーダーネットワーク会合に資料展示協力を行い、国際的な場で認知度向上を図ることができた。その他、今期は、マスコミに当会を取り上げてもらう努力をした結果、全国紙・地方紙・広報誌等に数多く掲載され、当会を知っていただくよい機会となった。
- ④ 組織の活性化を図る活動では、活動や運営の基礎情報として会員数及び業種別・所属別・職位等の構成を再調査し、会員構成の実態を明らかにした。
- ⑤ 関西支部では、消費者関連団体との連携を図り、消費者情報誌へ「情報カード」の掲載が実現した。「生活者と企業のパイプ役」として、生活者に向けての情報発信ができた。九州支部では、合同月例会を主催し、支部の活性化と支部間の交流を図った。
- ⑥ 賛助会員企業及び新規企業を積極的に訪問し、当会の現状と活動指針等を説明し、継続及び新入会のお願いにあたった。また、新たに、特別会員及び歴代会長との情報交換会の場を設け、現理事・監事・事務局とのコミュニケーションの構築を図った。賛助会員企業や先輩ヒーブとの連携強化により、今後の活動や組織運営に関する貴重な意見が得られた。

このように、積極的な活動を推進してきたが、依然として景気低迷に続き、当会及び会員を取り巻く環境は決して平穏ではない。この現実を真摯に受け止め、生活者と企業の信頼関係構築のために『ヒーブに何ができるのか』を常に念頭におき、積極的な活動の推進を図りたい。今後も生活者・企業・社会に貢献できるよう、常に努力を惜しまず挑戦し続けたい。

2010年度代表理事 高野 逸子

I. 2010年度事業実績

【東京本部・グループ活動】

1. 企画グループ

<活動実績>

- (1) 代表理事の諮問機関として代表理事を補佐し、全体の運営が円滑に行われるよう努め、行政・他団体・有識者等と積極的な情報交換を行い、協議会の活動を社会にアピールした。
- (2) 毎月企画グループ会議を実施し、各グループ及び事務局の運営サポートを行った。
- (3) 特別会員・歴代会長と役員との懇談会「HEIBのこれからを考える会」を新たに開催し、日本ヒーブ協議会の今後のあり方や取り組みに関する多くの助言を得た。
- 第1回 2010年8月26日 18名参加
第2回 2011年1月28日 20名参加
- (4) 賛助会員企業及び新規企業を訪問し、日本ヒーブ協議会の活動実績や活動計画について説明するとともに今後の運営へのご理解とご支援をお願いした。

| 本部・支部 | 訪問企業 | 実施日 | 担当者 |
|-------|------|------------|-------------------------|
| 東京本部 | 10社 | 2月14日～3月8日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 関西支部 | 2社 | 2月22日、4月7日 | 支部長 越智 亜希 |
| 九州支部 | 3社 | 7月～9月 | 支部長 高柳 薫子 花田 泉、岩井 美樹 |

- (5) 男女共同参画推進連携会議（高野代表理事が団体推薦委員として参画）の事務局である内閣府男女共同参画局からの要請に対応した。
- a. 男女共同参画局主催「苦情処理研修」（2011年5月13日開催予定）の講師推薦の要請があり、特別会員の近藤康子氏を推薦し、採用された。
（東日本大震災発生により開催延期が決定）
- b. 「ポジティブ・アクション」小委員会に参画することを決定した。
第一回「ポジティブ・アクション」小委員会（2011年3月22日実施）
- ・ 委員長、副委員長の選任について
 - ・ ポジティブ・アクションについて
 - ・ 本小委員会における議論の進め方等について
- (6) 行政・関連団体の主催する懇談会・研究会・記念式典等への出席<東京本部>

| 名称 | 主催 | 日時 | 出席者 |
|----------------------|---------------|-------|------------|
| ACAP 総会・懇親会 | (社)消費者関連専門家会議 | 4月21日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 全国消費者団体連絡会 レセプション | 全国消費者団体連絡会 | 5月20日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 男女共同参画推進連携会議 | 内閣府男女共同参画局 | 6月22日 | 代表理事 高野 逸子 |

| | | | |
|--|---------------|-----------|------------|
| ACAP30 周年記念シンポジウム | (社)消費者関連専門家会議 | 10 月 15 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 消費生活アドバイザー制度 創立 30 周年記念行事 | (財)日本産業協会 | 11 月 9 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 消費科学連合会シンポジウム | 消費科学連合会 | 12 月 9 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| ACAP30 周年記念式典 | (社)消費者関連専門家会議 | 1 月 12 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 男女共同参画推進連携会議 第 55 回国連婦人の地位委員会等 について聞く会 | 内閣府男女共同参画局 | 2 月 8 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 男女共同参画推進連携会議 | 内閣府男女共同参画局 | 2 月 14 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 消費者教育フェスタ | 文部科学省 | 2 月 23 日 | 代表理事 高野 逸子 |
| 男女共同参画推進連携会議 「ポジティブ・アクション」 小委員会 | 内閣府男女共同参画局 | 3 月 22 日 | 代表理事 高野 逸子 |

※ 上表の他、全国消費者フォーラム（独立行政法人国民生活センター主催、3 月 23 日開催予定）への参加を予定していたが東日本大震災発生により開催中止となった。

出席予定者：代表理事 高野 逸子、正会員 杉本 美穂、川口 徳子

(7) 消費者庁による平成 23 年度「消費者支援功労者表彰等候補者の推薦について」

当会正会員一名を推薦し、2011 年 1 月事務手続および資料の提出を行った。

2. 研究会推進グループ

会員の能力・資質の向上及びネットワーク醸成のために、各種講演会、分科会、見学会を企画・運営した。分科会の進捗状況報告の中間発表会を開催することで、会員の積極的な参加意識を向上させるとともに、会員相互のコミュニケーション強化・支援を図った（年度末発表会を 3 月に予定していたが、東日本大震災の発生により延期した）。運営にあたっては、分科会メンバーと連携し、全員一丸となった活動を推進した。

<活動実績>

(1) 月例研究会の開催

年間テーマ「日本ヒーブ協議会の原点再考—ヒーブ視点の実践と変革・挑戦に向けて—」に基づき、各分野から講師を招いて内容の充実を図った。特に、35 周年を見据えての具体的内容の第 1、第 2 項目に重点を置き、月例研究会を企画した。

※詳細は【月例研究会・公開講座<東京本部>】参照

【35 周年を見据えての具体的内容より】

①消費者団体及び消費者関連団体との連携を深め、社会への情報発信を行う。

⇒消費者関連 3 団体の講演（7 月）

②賛助会員による情報提供の機会を積極的につくり、企業の活動を紹介する。

⇒賛助会員企業の見学会（12 月）、賛助会員の講演（4 月、3 月（延期））

※他に、総会交流会で賛助会員企業の資料展示（4 月）

(2) 分科会の開催

昨年度から継続して 4 つのテーマを掲げ、中長期的な視点で活動を行った。毎月の分科会活

動では、互いに情報提供、議論を積極的に行い、現在の生活者に必要な課題・問題点を共有化した。中間発表会を行い、各グループの進捗状況を共有するとともに特別会員・歴代会長3名から助言を得る場とした。「お客様対応を考える」グループは、2年間に亘って取り纏めたお客様対応のマニュアルを活動報告書として正会員に配布した（東日本大震災の発生により、配布は2011年4月に延期）。

※詳細は【月例研究会・公開講座＜東京本部＞】参照

【分科会テーマ】

- ①啓発活動のあり方を考える
- ②生活者と企業のギャップを探る
- ③お客様対応を考える
- ④働く女性と生活に関する調査・提言

(3) 月例研究会レポート

毎回の活動内容をまとめた「月例研究会レポート」を刷新し、簡潔な講演概要とともに参加者アンケートのコメントを盛り込んだ。全会員に配信し協議会ホームページにも掲載した。

(4) 月例研究会・公開講座でのアンケートの実施

毎回アンケート調査を実施し、集計・分析した結果を、理事会で報告した。また、2月の月例研究会では、2010年度実施内容に対する会員の感想、評価及び今後の要望等について「今後の月例研究会に関するアンケート」を実施した。結果をもとに、2011年度の企画・運営を検討した。

(5) 月例研究会で新会員・交代会員の紹介を実施

月例研究会において、新会員・交代会員の自己紹介コーナーを企画し、会員と速やかに交流できるように支援した。

(6) 公開講座・見学会の開催

協議会の認知度を高めるため、一般・マスコミの方も参加できる公開講座を4月、6月、7月、1月に開催した。また、2月には会員の上司・同僚も参加できるセミ公開講座として開催した。12月には賛助会員企業2社の見学会を実施した。消費者関連部門に所属する会員構成比が高いことから、1社はコールセンター見学を行った。

※詳細は【月例研究会・公開講座＜東京本部＞】参照

(7) キャリアアップセミナーの実施

11月には、「カラーユニバーサルデザイン入門」というテーマで、パンフレットや資料作成にすぐに活かせる実践的な内容のセミナーを行った。

※詳細は【月例研究会・公開講座＜東京本部＞】参照

(8) 2010年（第8回）総会の運営

【総会議事】

- 第1号議案 2009年度事業報告
- 第2号議案 2009年度決算報告
監事による会計及び業務報告
- 第3号議案 2010年度役員選任
- 第4号議案 2010年度事業計画
- 第5号議案 2010年度予算計画

| 役割 | 担当 | |
|-------|---------------|--|
| 司会 | 総合司会 | 杉本 美穂／ライオン(株) |
| | 交流会司会 | 林 栄吏子／昭和産業(株) |
| 総会議長団 | 議長 | 下開 千春／(株)第一生命保険経済研究所 |
| | 副議長 | 中村 文代／日本電気(株) |
| | 書記 | 石神 美穂／静岡スバル自動車(株) |
| 報告者 | 2009 年度事業報告 | 2009 年度代表理事：鍵谷 泉／ユニ・チャーム(株) |
| | 2009 年度決算報告 | 2009 年度会計：水島 昭子／日本ハム(株) |
| | 監事による会計及び業務報告 | 監事：大場 眞知子／(株)ゴールドウイン 監事：林 栄吏子／昭和産業(株) |
| | 2010 年度役員選任 | 選挙管理委員長：三田 まり子／(株)販売促進研究所 |
| | 2010 年度事業計画 | 2010 年度代表理事：高野 逸子／ アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) |
| | 2010 年度予算計画 | 2010 年度会計：後藤 寛子／森永乳業(株) |

【月例研究会・公開講座＜東京本部＞】

| | 会の名称 | 講演テーマ・講師 | 実施日・会場 | 出席者数 |
|---|---------------------------------|--|------------------------------|---|
| 1 | 2010 年 総会 公開講演会 | ◆「もっともっと開かれた食品づくりへ。OPEN 品質」～日本ハムグループの品質保証運動～ 山田 輝男氏／日本ハム株式会社 常務執行役員品質保証部長お客様コミュニケーション室長 ◆交流会 | 4月23日(木) アイビーホール ル青学会館 | 総会 59名 講演会 124名 交流会 100名 |
| 2 | 月例研究会 ガイダンス ミーティング 分科会 | ◆ガイダンスミーティング ・日本ヒーブ協議会について ・先輩ヒーブ講話 山本 加津子氏／NPO 法人 J-win 片岡 まり氏／株式会社資生堂 ◆分科会 4 つのテーマ別グループ活動 | 5月28日(金) 女性と仕事の 未来館 | ガイダ ンス 25名 分科会 37名 |
| 3 | 月例研究会 公開講座 分科会 | ◆「消費者関連団体の活動に学ぶ～生活者と企業の よりよい関係を目指して～」 阿南 久氏／全国消費者団体連絡会事務局長 池田 澄子氏／社団法人全国消費生活相談員 協会専務理事 長見 萬里野氏／財団法人日本消費者協会参与 ◆分科会 4 つのテーマ別グループ活動 | 6月25日(金) 女性と仕事の 未来館 | 講演会 66名 分科会 37名 |
| 4 | 月例研究会 公開講座 分科会 | ◆「消費者庁の消費者行政と今後の取り組み」 羽藤 秀雄氏／消費者庁審議官 ◆分科会 4 つのテーマ別グループ活動 | 7月23日(金) 女性と仕事の 未来館 | 講演会 56名 分科会 38名 |
| 5 | 月例研究会 分科会 | ◆分科会 4 つのテーマ別グループ活動 | 9月28日(火) 女性と仕事の 未来館 | 分科会 35名 |

| | | | | |
|----|---------------------------------|---|---------------------------|--------------------------|
| 6 | 月例研究会 分科会 中間発表会 | ◆「働く女性と暮らしの調査」勉強会 ◆分科会中間発表会 ・先輩ヒーブからの体験談 「私の仕事の流儀～疑問の発端は現場から～」 深川 幸子氏／花王株式会社シニアパートナー ・各グループ発表（先輩からのアドバイス） 深川 幸子氏／花王株式会社 仁見 貞子氏／日本製粉株式会社 三田 まり子氏／株式会社販売促進研究所 | 10月21（木） 女性と仕事の 未来館 | 勉強会 40名 発表会 49名 |
| 7 | 月例研究会 キャリアアッ プセミナー 分科会 | ◆キャリアアップセミナー「カラーユニバーサルデ ザイン入門」 坂内 里嘉子氏／カラリスト ◆分科会 4つのテーマ別グループ活動 | 11月26（金） 女性と仕事の 未来館 | 講演会 34名 分科会 37名 |
| 8 | 月例研究会 企業見学会 | ◆企業見学会 ・森永乳業株式会社東京多摩工場 ・アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社） コールセンター | 12月15日（水） | 見学会 38名 |
| 10 | 月例研究会 公開講座 分科会 | ◆「変わる消費者にマーケティングはどう応えるか」 四元 正弘氏／株式会社電通 電通総研ヒューマン・インサイト部長 ◆分科会 4つのテーマ別グループ活動 | 1月14日（金） 女性と仕事の 未来館 | 講演会 63名 分科会 42名 |
| 11 | 月例研究会 セミ公開講座 分科会 | ◆「景品表示法関連行政～最近の活動と成果～」 下津 秀幸氏／消費者庁 表示対策課 課長補佐 ◆分科会 4つのテーマ別グループ活動 | 2月17日（木） 女性と仕事の 未来館 | 講演会 54名 分科会 36名 |

※ 上表の他、3月度月例研究会（3月17日開催）を予定していたが東日本大震災発生により開催中止（延期）とした。

3. 組織の活性化を図るグループ

協議会の活性化を目的として、協議会の基盤整備を行い、会員自らが積極的に活動できるように支援した。

<活動実績>

(1) 会員の管理と拡大

- ①入会・退会・会員変更・休会申込の状況を月次で理事会に報告し、共有を図った。
- ②会員構成等の正確な状況を把握し、また、協議会運営を円滑に行うため、会員情報の整備を行った。最新情報に基づき、ホームページの会員プロフィールを更新した。
- ③特別会員については期間を設定していないが、新たに、年度末に会員継続の意思確認を実施し、あわせて次年度活動への寄付を募ることとした。3月に特別会員に案内を送付した。

(2) 諸規則の見直し

- ①一般社団法人法に沿った協議会運営の一環として、総会で承認された理事による第1回理事会において、代表理事が理事の互選により選任される手順を導入した。
- ②協議会の現状を鑑み、長期視野に立った施策を実行できるようにすることは必須であると考へ、定款施行規則の改訂を実施し、代表理事の再選を可能にした。

(3) グループ活動の推進

- ①東京本部においては、昨年度に引き続き、分科会活動と連動した運営を導入した（グループメンバー＝分科会メンバー）。これにより、メンバー相互の連帯感も深まった。

② 具体的には次の活動を行った。

研究会推進グループ：月例研究会の受付や司会、月例研究会レポート作成

調査グループ：定点調査の振り返り、グループインタビュー

広報グループ：レポートヒーブの取材

組織の活性化を図るグループ：交流会の幹事（7月、10月）

(4) 情報交換会の開催

会員同士の face to face の交流を図るために月例研究会後に情報交換会を開催した（7月、10月）。交流会には月例研究会講師にも参加いただき、講師との交流も図ることができた。

(5) 新会員へのガイダンス

① 昨年度に引き続き、ガイダンスミーティングを5月に開催し、新年度最初の月例研究会から協議会活動に参加しやすいようにした。協議会の概要、グループ活動、分科会などの活動内容を説明し、積極的参加を呼びかけると同時に、自己紹介や先輩会員の体験談を通して会員相互の交流を深めた。

② 研究会推進グループと協同し、月例研究会の第一部として開催することで、継続会員についても参加可能とし、ヒーブを振り返る機会とした。

(6) 理事・監事選挙

① 2011 年度役員選出のための選挙管理委員会を発足させ、選挙管理委員会活動が円滑に推進されるように支援した。（8～3月）

【選挙管理委員会】

| | 支部 | 氏名 | 会社名 |
|-----|----|-------|----------------|
| 委員長 | 東京 | 鍵谷 泉 | ユニ・チャーム(株) |
| 委員 | 東京 | 田代 文子 | パナソニック電工(株) |
| 委員 | 東京 | 中村 嘉子 | (株)学研プロダクツサポート |
| 委員 | 関西 | 山川 優子 | 日本生命保険(相) |
| 委員 | 九州 | 林 真実 | 九州電力(株) |

② 選挙の結果、理事候補者 15 名、監事候補者 2 名が信任されたが、その後、理事候補者 1 名は異動に伴う会員交代が決定したため、候補者を辞退することになった。（東日本大震災の状況を鑑み、追加選挙は行わないこととした。）

(7) 理事会だよりの発行

「理事会だより」を毎月作成し、協議会運営の“見える化”を図った。理事会後ホームページに随時掲載するとともに、掲載後メール配信による告知を行い、認知度向上を図った。

4. 広報グループ

協議会の認知度向上のために会の内外へ情報発信を行うという役割のもと、次の活動を行った。

<活動実績>

(1) 「レポートヒーブ」「What is ヒーブ？」の発行

会員向け機関誌「レポートヒーブ」を2回（11月・4月）発行した。月例会、分科会活動報告を始め、関連する団体へのインタビューなどを取り入れることで、活動報告にとどまらない内容とし、広報誌としての充実を図った。

「What is ヒーブ？」をA5サイズへ変更し、複数年使用できるよう改訂を行った。

(2) ホームページの運営及びリニューアル

ホームページの不要な情報を整理し、魅力あるページづくりを目指した。また、協議会の活動をタイムリーに発信し、協議会活動の理解促進・認知向上に努めた。

(3) 生活講習・ヒーブ仕事講座の実施

2 箇所の消費者センターで生活講習を実施し、生活に役立つ情報を提供した。ヒーブ仕事講座としては、専修大学 HEIB 講座に講師を派遣し、学生の今後のキャリアに役立つ情報を提供した。

【生活講習】

| 開催場所 | テーマ | 実施日 | ヒーブ担当者 |
|----------------|-------------------------|------------|------------------------------|
| ひたちなか市消費生活センター | 「食」に関する今日的テーマと企業の対応 | 2010年5月20日 | 味の素(株)お客様相談センター長 長谷川 公彦 氏 |
| 船橋市役所 | お家の整理・収納術「掃除・収納上手は節約上手」 | 2010年12月9日 | (株)女性の生活研究室 みかなぎ りか氏 |

【ヒーブ仕事講座】

| 依頼元 | テーマ | 実施日 | ヒーブ担当者 |
|------|--------|------------|---------------------|
| 専修大学 | HEIB講座 | 2010年5月25日 | ユニ・チャーム(株) 鍵谷 泉氏 |

(4) APEC 女性リーダーズネットワーク会合での出展

協議会の社会的認知度向上を目的に APEC 女性リーダーズネットワーク会合での出展企画に参加した。展示資料と配布資料については、会員の協力により英語版資料を作成した。

【イベント概要】

名 称：2010APEC 女性リーダーズネットワーク(WLN) 会合

主 催：内閣府男女共同参画局

日 程：2010年9月19日(日)～21日(火)

場 所：京王プラザホテル

参加者：600人

【出展内容】

- ・情報カード、賛助企業のパネル展示
- ・ヒーブバッグの展示と資料配布
- ・「What is ヒーブ?」「第8回働く女性と暮らしの調査報告書」「レポートヒーブ」など配布

※出版物・印刷物

| 名 称 | 発行年月 | 部数 | 内 容 |
|---------|-----------------|------|---|
| レポートヒーブ | 64号 2010年4月 | 1100 | 顧客満足度の向上について味の素(株)との意見交換、及び、味の素(株)お客様相談室長へお客様満足品質への取り組みについてインタビューを特集した。 |
| | 65号 2010年11月 | 1100 | 分科会活動「生活者と企業のギャップを探る～表示の研究～」を特集として取り上げ、関連して「全国消費者団体連絡会」へのインタビュー記事を掲載した。 |

| | | | |
|--|------------|-----|--|
| 第 8 回働く女性と暮らしの調査報告書 | 2010 年 6 月 | 600 | フルタイムで働く女性を対象に 1985 年より実施している調査。第 8 回は、「女性が前向きに働き続けるために」をテーマに、仕事、ワークライフバランス、消費・サービス、健康、セカンドライフなどの項目で調査を実施した。 |
| 電話対応実務マニュアル・Eメール対応実務マニュアル (分科会活動報告資料) | 2011 年 3 月 | 300 | 「お客様対応を考える」分科会の研究成果として、迅速かつ的確なお客様対応スキル強化のためのマニュアルを作成し、会員へ配布した。 |

※マスコミ等記事掲載

【トピック関連】

| 新聞名・誌名 | 社名・団体名 | 掲載日 | タイトル |
|-------------------|-------------|--------------------|--|
| 日本経済新聞（朝刊） | （株）日本経済新聞社 | 2010 年 6 月 21 日 | 「女性の働く理由『生計維持』56%」 （第 8 回「働く女性と暮らしの調査」関連記事） |
| 産経新聞（朝刊） | （株）産業経済新聞社 | 2010 年 7 月 5 日 | 「超えられないハードルはない」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 産経新聞（朝刊） | （株）産業経済新聞社 | 2010 年 7 月 9 日 | 「働く女性、『生計維持のため』が最大」 （第 8 回「働く女性と暮らしの調査」関連記事） |
| 岩手日報（朝刊） | （株）岩手日報社 | 2010 年 8 月 12 日 | 「女性の視点と感覚を反映」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 静岡新聞（夕刊） | （株）静岡新聞社 | 2010 年 8 月 12 日 | 「この人この仕事」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 夕刊フジ | （株）産業経済新聞社 | 2010 年 8 月 14 日 | 「女性の『生活者視点』と企業をつなぐ」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 千葉日報（朝刊） | （株）千葉日報社 | 2010 年 8 月 16 日 | 「『女性ならではの感覚反映』企業活動に生活者視点」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 山陰中央新報（朝刊） | （株）山陰中央新報社 | 2010 年 8 月 16 日 | 「女性ならではの感覚反映」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 高知新聞（夕刊） | （株）高知新聞社 | 2010 年 8 月 16 日 | 「企業活動に生活者視点」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 信濃毎日新聞（夕刊） | 信濃毎日新聞（株） | 2010 年 8 月 16 日 | 「女性らしい視点で改善実現」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 沖縄タイムス（朝刊） | （株）沖縄タイムス社 | 2010 年 8 月 17 日 | 「生活者視点を反映」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 茨城新聞 | （株）茨城新聞社 | 2010 年 8 月 19 日 | 「企業活動に感覚反映」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 山形新聞（夕刊） | （株）山形新聞社 | 2010 年 8 月 19 日 | 「『企業活動に生活者視点』商品やサービスの改善」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 西日本新聞（夕刊） | （株）西日本新聞社 | 2010 年 9 月 6 日 | 「女性ならではの感覚反映」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| 日刊工業新聞 | （株）日刊工業新聞社 | 2010 年 9 月 20 日 | 「産業春秋」APEC 関連記事 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| あどばいざあ 第 117 号 | （財）日本産業協会 | 2011 年 1 月 | 「活躍する消費生活アドバイザー」 高野 逸子 |
| 経済広報 378 号 | （財）経済広報センター | 2011 年 2 月 1 日 | 働く女性と暮らしの調査「女性が前向きに働き続けるために」 日本ヒーブ協議会 調査グループ （株）第一生命経済研究所 下開 千春 パナソニック電工（株） 田代 文子 |

| | | | |
|---|----------------------------|---------------|------------------------|
| 事業者と消費者の相互理解と信頼再構築をめざして（双方向コミュニケーション研究会まとめ） | 特定非営利活動法人 消費者支援機構 関西 | 2011 年 3 月 | 『日本ヒーブ協議会』“情報カード”活動報告書 |
|---|----------------------------|---------------|------------------------|

【所信表明関連】

| 新聞名・誌名 | 社名・団体名 | 掲載日 | タイトル |
|--------------------------|---------------|--------------------|--|
| 日本消費経済新聞 2011 年 新春特集号 | 日本消費経済 新聞社 | 2011 年 1 月 1 日 | 「年頭所感」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 関西支部長 越智 亜希 |
| 消費と生活（297 号） | 消費と生活社 | 2011 年 1-2 月号 | 『生活者と企業のパイプ役』としての原点 再考」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |
| ニッポン消費者新聞 | 日本消費者新聞社 | 2011 年 1 月 1 日号 | 「原点再考し、実践・挑戦」 日本ヒーブ協議会代表理事 高野 逸子 |

【公開講座関連】

| 新聞名・誌名 | 社名・団体名 | 掲載日 | タイトル |
|--------------|--------|------------------|---|
| 消費と生活（294 号） | 消費と生活社 | 2010 年 7-8 月 | 「消費と生活」「もっともっと開かれた食品 づくりへ。OPEN 品質」 (2010 年度定時社員総会 記念講演会／日本ハム㈱) |
| 消費と生活（295 号） | 消費と生活社 | 2010 年 9-10 月 | 「地方の消費者行政の充実強化を」 (東京 7 月度月例会 公開講座／消費者庁) |

【ヒーブ担当連載】

| 誌名・タイトル | 社名・団体名 | 掲載日 | タイトル |
|--|------------|----------------------|---|
| コスメチックからの メッセージ 「わたしにとって のおしゃれ・化粧品」 | 日本化粧品工業連合会 | 2010/夏号 (No. 195) | 「三面鏡はおしゃれの必需品」 三菱自動車工業㈱ 民長 奈緒子 |
| | 日本化粧品工業連合会 | 2010/秋号 (No. 196) | 「おしゃれとしての化粧」 ジュピターショップチャンネル㈱ 平野 美由紀 |
| | 日本化粧品工業連合会 | 2010/冬号 (No. 197) | 『洗顔』を楽しむ」 サントリーホールディングス㈱ 松居 幸代 |
| | 日本化粧品工業連合会 | 2011/春号 (No. 198) | 「骨格メイクで自信！」 第一生命保険㈱ 坂本 恵 |

【自主研究会連載】

| 誌名・タイトル | 社名・団体名 | 掲載日 | タイトル |
|---------|------------|-------------------------|---|
| 消費者情報 | (財)関西消費者協会 | 2010/11 月号 (No. 416) | 生活力アップ豆知識 vol.1 「意外に知られていない化粧品の期限 や保管方法、あなたをご存知ですか？」 |
| | (財)関西消費者協会 | 2011/4 月号 (No. 420) | 生活力アップ豆知識 vol.2 「食品の期限表示をあなたはご存知です か？安心して、美味しく、賢くご利用いた だくポイントをお伝えします。」 |

5. 調査グループ

ヒーブ視点で情報発信を行うために各種調査を実施するという役割のもと、次の活動を行った。

<活動実績>

(1) 調査報告書発行

「第8回 働く女性と暮らしの調査 女性が前向きに働き続けるために」調査報告書を6月に発行した(600部)。

(2) 調査報告書の発信

- ・調査報告書は会員の他、消費生活センター、マスコミ、主要女子大、図書館等にも配布した(287箇所)。
- ・調査結果の一部は2010年6月21日付 日本経済新聞、7月9日付 産経新聞に掲載された。
- ・10月度月例会において調査報告書勉強会を行い、会員の理解を深め、調査結果の活用を促した。
- ・特別会員 落合良氏のご紹介により、(財)経済広報センター発行「経済広報」378号(2011年2月号)に寄稿を行った。

(3) 付随調査

- ・会員を対象に第8回調査の読後アンケートを行った(7月)。
- ・読後アンケート結果で関心の高い項目について、12月にグループインタビューを実施した。

【支部活動】

1. 関西支部

不安定な経済環境の中、「生活者と企業のパイプ役」であるヒーブがその役割を果たし、生活者に向けた適切な情報発信が行えるようにスキルアップにつながる活動を行った。

「全員参加」の月例研究会活動として、会員全員が月例研究会の企画から運営まで携わることができた。それらを通じて会員のコミュニケーションをより深めることができ、相互に影響しあえる関係を構築することができた。

【関西支部運営委員】

| | |
|-----|--------------------------|
| 支部長 | 越智 亜希／(株)フレスタ |
| 委員 | 上田 稚子／(株)アンデルセンパン生活文化研究所 |
| | 木全 美里／(株)ミツカン |
| | 小又 美智／(株)ミツカン |
| | 野口 美樹／(株)ダスキン |
| | 山本 千草／パナソニック(株) |

<活動実績>

(1) 月例研究会活動

①月例研究会の目的

月例研究会では、会員一人ひとりがヒーブに求められている資質である現状把握力・問題

発見力・判断力・問題解決力・プレゼンテーション力など様々な能力の向上を目指し、各自の業務に具体的にフィードバックできるようテーマ設定を行い、研究会活動を行った。各月例会とも活発な質疑応答を行い、それぞれのテーマを理解できた。

②テーマディスカッション

会員が自ら考え行動する場として例年テーマディスカッションを実施している。情報交換の機会を増やし会員相互のコミュニケーション活性化を通じてヒーブならではの「ネットワーク力」を強化することができた。

③「運営スタッフ」制度

本年度も全員参加型の研究会活動を目指し、会員全員が「運営スタッフ」に登録、多くの会員が研究会の運営に携わりその活動を実感することで、ヒーブとしてのスキルの向上を図るとともに、会員の運營業務への理解を深めた。

④月例研究会の記録

月例研究会の内容と研究会に関するアンケート結果は、研究会レポート等でまとめ会員に報告し、会員が研究会活動で得た情報の定着を図った。

【月例研究会・公開講座＜関西支部＞】

| | 会の名称 | 講演テーマ・講師 | 実施日・会場 | 出席者数 |
|---|---|---|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 支部大会 ガイダンスミーティング 記念講演会 (公開講座) | ◆「消費者・企業の相互理解と信頼づくりに向けて」 片山 登志子氏／特定非営利活動法人 消費者支援機構関西 (KC'S) 副理事長 ◆ガイダンスミーティング ◆懇親会 | 5月10日(月) 大阪産業創造館 マーケットプラザ | 大会 28名 講演会 86名 懇親会 59名 |
| 2 | 2010年度 第1回 月例研究会 スキルアップ 講座① | ◆「小林製薬お客様相談室のCS向上への取り組み」 村上 直紀氏／小林製薬株式会社 お客様相談室 ◆第1回テーマディスカッション 「今期月例研究会のすすめかたについて」 | 6月18日(金) ドーンセンター | 講演会 35名 テーマ 18名 |
| 3 | 2010年度 第2回 月例研究会 スキルアップ 講座② | ◆「エステ商品の商品企画開発」 大田 馨子氏／パナソニック電工株式会社 ビューティ・ライフ事業部 ◆第2回テーマディスカッション 「業務(会社)へのフィードバックについて考える」 | 7月6日(火) ダスキン本社 | 講演会 35名 テーマ 17名 |
| 4 | 2010年度 第3回 月例研究会 スキルアップ 講座③ | ◆「すべてのお客様にパンを食べる楽しみを 『介護食初のパン』の開発」 三山 雅代氏／株式会社タカキヘルスケア フーズ 代表取締役社長 ◆第3回テーマディスカッション 「ユニバーサルデザインについて考える」 | 10月28日(木) ドーンセンター | 講演会 27名 テーマ 17名 |
| 5 | 2010年度 ヒーブセミナー | ◆「食品業界における新しいマーケティングの 鼓動ーソーシャルとコマースの両立に チャンスありー」 森下 満成氏／クックパッド株式会社 執行役 マーケティング支援事業部長 ◆ふれあいディナー(懇親会) | 11月26日(金) ドーンセンター | 講演会 34名 懇親会 12名 |

| | | | | |
|---|--|---|---------------------------------|----------------------------|
| 6 | 2010 年度 第 4 回 月例研究会 スキルアップ 講座④ | ◆「はがきの表書きからみる筆跡診断」 ワークショップ 山上 りるも様／筆跡診断士 ◆第 4 回テーマディスカッション 「ワークライフバランスについて」 「来期支部活動について」 | 12 月 9 日（木） 日本ハム株式会社 | 講演会 18 名 デーマ 13 名 |
| 7 | 2010 年度 第 5 回 月例研究会 企業見学会 | ◆「お客様満足の向上を目指して」 藤原 美恵氏／サントリービジネスエクス パート株式会社 ◆工場見学、ビールセミナー | 1 月 21 日（金） サントリー 京都ビール工場 | 講演会 22 名 見学会 22 名 |
| 8 | 2010 年度 第 6 回 月例研究会 スキルアップ 講座⑤ | ◆「お客様の声を売りにつなげる取り組み」 林 絵里氏／株式会社カタログハウス ファッション商品開発室 ◆第 5 回テーマディスカッション 「お客様の声を売りにつなげる取り組み」 | 2 月 22 日（火） ドーンセンター | 講演会 27 名 テーマ 19 名 |

※ 上表の他、第 7 回月例研究会（3 月 14 日開催）を予定していたが東日本大震災発生により開催中止とした。

（2）自主研究会活動

「お客様コミュニケーション技術研究会」は、今年度は計 5 回の研究会を開催し、次の活動を展開した。

①『消費者情報』への記事の掲載 “生活力アップ豆知識”

関西消費者協会発刊『消費者情報』に「情報カード活動報告書」の内容を掲載した。今後
も継続して記事掲載を予定している。

〔2010 年 11 月号〕生活力アップ豆知識 vol.1

「意外に知られていない化粧品の期限や保管方法、あなたをご存知ですか？」

〔2011 年 4 月号〕生活力アップ豆知識 vol.2

「食品の期限表示をあなたをご存知ですか？安心して、美味しく、賢くご利用いただくポイントをお伝えします。」

②自主研究会での「情報カード」の作成

③会員間の情報交換

メンバー企業の活動事例（新たな取り組みや対応事例など）や商品知識など、様々な情報交換を行った。

（3）広報活動

他団体の交流（ACAP、NACS 等）や消費者教育学会への参加をとおしてヒーブ協議会の情報発信を行った。（4 月：ACAP、5 月：関西 4 団体、9 月：関西 4 団体、ACAP 周年記念大会、12 月：消費者教育学会 役員会）

（4）組織活動

①ガイダンスミーティング

新入会員を対象として支部大会に合わせて「ガイダンスミーティング」を実施し、協議会
に対する認識を深めてもらうことで、月例研究会・支部運営活動への積極的な参加を促した。

②ふれあいディナー、ランチ

会員間交流の場として、今年度は「ふれあいディナー」を 1 回実施した。

③運営委員選挙

関西支部 2011 年度運営委員を選出した。

(5) 行政・関連団体の主催する懇談会・研究会・記念式典等への参画<関西支部>

| 名称 | 主催 | 日時 | 参加者 |
|-----------------|-------------------------|-------|----------------------|
| ACAP 西日本支部 大阪例会 | (社)消費者関連専門 家会議 西日本支部 | 4月28日 | 野口 美樹 川口 徳子 |
| 関西4団体合同会議 | ACAP・NACS・全相協・ ヒーブ | 5月26日 | 関西支部長 越智 亜希 川口 徳子 |
| ACAP 関西周年記念講演会 | (社)消費者関連専門 家会議 西日本支部 | 9月28日 | 関西支部長 越智 亜希 川口 徳子 |
| 消費者教育学会 役員会 | 消費者教育学会関西 支部 | 12月4日 | 山本 千草 |

2. 九州支部

「21世紀型の企業・生活者・働き方 ～本質を知る・感じる・伝えるヒーブ～」を活動テーマとして、ヒーブが果たせる役割について改めて考え、昨年度に引き続きこれまでの枠組みに捕われない「21世紀型ヒーブ視点」を模索する活動を行った。

【九州支部運営委員】

支部長 高柳 薫子 / (株)アヴァンティ
 副支部長 鈴木 亜希子 / (株)B I S ネット
 副支部長 向井 和代 / TOTO(株)

他8名

<活動実績>

(1) 月例研究会活動

全員で運営する体制を継続し、月例ごとに担当者を決めることによって、各人が積極的に活動に関われるよう努めた。

①公開講座

今年度は合同月例研究会を含め3回の公開講座を行い、広くヒーブの活動を周知した。その中でも、11月には行政と共に企画する「福岡県男女共同参画センター参加交流事業」に参加した。社会人だけでなく、これから社会に巣立つ学生にも、働く女性のモデル集団としてヒーブの活動に魅力や価値を感じてもらえるような企画を立て、PRを行った。九州支部としては初の助成金事業でもあった。

②合同月例研究会

企業の資料館等の見学とシンポジウムを組み合わせたプログラムを行い、企業情報発信のより良いあり方を考えた。シンポジウム、合同プロジェクト会議では施設を見学して出たヒーブ視点の意見を直接企業担当者に伝え、また参加者からも意見を拾いながら、会場で相互に意見を交換しあえる会となった。

③企業訪問ワークショップ

訪問企業の情報誌やサービスのチラシ・広告等について生活者目線での意見交換をするワークショップを行った。九州支部が昨年度より続けてきたファシリテーションスキルを実践する場でもあり、また訪問企業にもヒーブの活動に関して価値を感じていただけた。

【月例研究会・公開講座<九州支部>】

| | 会の名称 | 講演テーマ・講師 | 実施日・会場 | 出席者数 |
|---|--|---|----------------------------------|---|
| 1 | 支部総会 公開講座 ガイダンスミ ーティング 懇親会 | ◆「ぶれない軸を持つ～私のクライアントセン タード（顧客中心・使用者中心）の実践～」 潮谷 義子氏／長崎国際大学学長 ◆ガイダンスミーティング ◆名刺交換会&懇親会 | 5月28日（金） 西鉄イン福岡 2階Aホール | 大会 10名 講演会 49名 懇親会 29名 |
| 2 | 第119回 月例研究会 | ◆「本質を知る力・伝える力 ～手間仕事を 伝え続ける編集者から学ぶ～」 田中 智子氏／「手の間」編集長 | 7月29日（木） 手の間ギャラリー | 6名 |
| 3 | 第120回 合同月例 研究会 | ◆企業見学会 ・株式会社ゼンリン「地図の資料館」 ・TOTO株式会社「歴史資料館」 ・株式会社ふくや「フーズファクトリー」 ◆シンポジウム・公開プロジェクト会議 〔第1部〕パネルディスカッション 「企業見学は好きですか？ あなたは企業の どこを見ますか？ 企業情報発信の可視化を 考えるシンポジウム」 瓜生 芳郎氏／九州エネルギー館館長 扇 隆氏／株式会社ゼンリン（地図の資料館） IR・広報部長 山谷 幹夫氏／株式会社TOTO 歴史資料館館長 〔第2部〕公開プロジェクト会議 仮想企業博物館「めんたい博物館を作ろう」 寺本 誠氏、荻原 昌幸氏、永吉 講平氏 ／株式会社ふくや | 9月22日（水） アクロス円形 ホール | 見学会 17名 シンポ ジウム 40名 懇親会 29名 |
| 4 | 第121回 公開講座 | ◆あすばる男女共同参画フォーラム 2010 参加 団体テーマ企画（福岡県あすばる助成金事業） 「働くって楽しい！ヒーブ『働き方』市」 | 11月28日（日） クローバープラザ 506 研修室 | 33名 |
| 5 | 第122回 月例研究会 | ◆ファシリテーションスキルアップ講座 軽留部 貴行氏／九州大学大学院 統合新領域学府 特任准教授 日本ファシリテーション協会 フェロー ◆マラソンミーティング 「来期活動計画について」 | 2月11日（金） ～12日（土） かねやす | 9名 |
| 6 | 第123回 月例研究会 | ◆ヒーブ・ワークショップ at ゼンリン | 3月23日（水） 株式会社ゼンリン 本社会議室 | 8名 |

(2) 広報活動

昨年度より引き続き、広報専任担当を設置。マスコミへの積極的な情報発信のできる体制を整備し、役割が明確化されたとともに、公開講座について集客PRを情報誌等で紹介いただ

き、さらに実施報告については、新聞1紙に掲載された。また今年は行政センター、大学、専門学校への広報も強化した。

(3) 組織活動

例年どおり、全会員サポート体制をとり月例研究会の運営効率化や参加率アップを図った。また、組織担当も設置し、広報同様、役割を明確にした。しかし、会員数については、積極的な拡大活動を講じることができず、また、現会員も1名退会に至った。

(4) 今後の課題

①九州支部は、内容の充実を図るため、また、会員の負担を軽減するために月例研究会を2ヶ月に1回の開催としており、会員の満足度向上に努めてきた。今年は合同月例研究会を含め、公開講座が3回あったため、活動の満足度・充実度は高かった半面、準備や集客の面で負荷が大きかった面もあった。今後は運営の負荷軽減の工夫を図りたい。

②九州支部の会員減少に対する対策として、今後は東京本部・関西支部とも連携しつつ、現会員が会員継続できるようバックアップ体制を構築するとともに、地元企業に対するヒーブの活動PRをより一層強化することが必要である。

II. 組織

一般社団法人日本ヒーブ協議会 2010 年度の活動は、代表理事以下、理事会及びその下に組織された各グループ及び各支部によって行った。

なお、今期の理事会は「理事会準備会」を 1 回、「理事会」を 14 回実施した（臨時 2 回含む）。

【役員】

| | | |
|-------|--------|-------------------------|
| 代表理事 | 高野 逸子 | アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社） |
| 副代表理事 | 細島 芳 | 第一生命保険(株) |
| 副代表理事 | 水島 昭子 | 日本ハム(株) |
| 理事 | 上地 美香 | (株)アシックス |
| 理事 | 小松 早苗 | (株)アルソアねむの樹トラスト |
| 理事 | 徳永 由美 | (株)資生堂 |
| 理事 | 間瀬 みゆき | 大正製薬(株) |
| 理事 | 民長 奈緒子 | 三菱自動車工業(株) |
| 理事 | 市川 裕子 | 明治安田生命保険(相) |
| 理事 | 後藤 寛子 | 森永乳業(株) |
| 理事 | 越智 亜希 | (株)フレスタ |
| 理事 | 高柳 薫子 | (株)アヴァンティ |
| 理事 | 鈴木 亜希子 | (株)B I S ネット |
| 理事 | 向井 和代 | TOTO(株) |
| 監事 | 大場 眞知子 | (株)ゴールドウイン |
| 監事 | 林 栄史子 | 昭和産業(株) |

【運営グループ】

| | | | |
|---------------|------|-------|-----------------------------|
| 企画グループ | リーダー | 高野 逸子 | アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) |
| 研究会推進グループ | リーダー | 市川 裕子 | 明治安田生命保険(相) |
| 組織の活性化を図るグループ | リーダー | 水島 昭子 | 日本ハム(株) |
| 調査グループ | リーダー | 小松 早苗 | (株)アルソアねむの樹トラスト |
| 広報グループ | リーダー | 細島 芳 | 第一生命保険(株) |
| 関西支部 | 支部長 | 越智 亜希 | (株)フレスタ |
| 九州支部 | 支部長 | 高柳 薫子 | (株)アヴァンティ |

【会員数】 (2011 年 3 月 31 日現在)

| | |
|--------|---------------|
| 正会員 | 135 名 (110 社) |
| うち関西支部 | 30 名 (26 社) |
| うち九州支部 | 13 名 (12 社) |
| 特別会員 | 24 名 |
| 個人会員 | 13 名 |
| 賛助会員 | 29 社 (32 名) |
| 休会 | 6 名 |

【事務局】

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 2 丁目 22 番 2 号 金杉ビル 401 号

TEL 03-3320-3155 FAX 03-3320-3166

URL <http://www.heib.gr.jp/> E-mail heib-jimukyoku@heib.gr.jp

事務局 窪田 久美子 辻村 智恵子

2010年度 収支決算報告書

自 2010年4月1日
至 2011年3月31日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 減 |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 前 期 繰 越 金 | 523,016 | 523,016 | 0 |
| 会 費 | 8,244,000 | 7,910,000 | 334,000 |
| 正 会 員 | 8,100,000 | 7,700,000 | 400,000 |
| 個 人 会 員 | 144,000 | 210,000 | △ 66,000 |
| 入 会 金 | 65,000 | 130,000 | △ 65,000 |
| 正 会 員 | 60,000 | 120,000 | △ 60,000 |
| 個 人 会 員 | 5,000 | 10,000 | △ 5,000 |
| 賛 助 会 費 | 2,200,000 | 2,200,000 | 0 |
| 雑 収 入 | 262,500 | 1,108,602 | △ 846,102 |
| 預 貯 金 利 息 | 1,000 | 3,817 | △ 2,817 |
| 特 別 例 会 費 | 240,000 | 834,900 | △ 594,900 |
| そ の 他 | 21,500 | 269,885 | △ 248,385 |
| 合 計 | 11,294,516 | 11,871,618 | △ 577,102 |

※ 特別例会費内訳

| | |
|------|---------|
| 東京本部 | 499,000 |
| 関西支部 | 229,400 |
| 九州支部 | 106,500 |

<支出の部>

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 減 |
|------------------------|------------|------------|-------------|
| 活動費（東京・関西・九州合計） | 5,065,500 | 4,236,288 | 829,212 |
| 企画活動 | 80,000 | 86,020 | △ 6,020 |
| 研究会推進活動 | 3,433,500 | 2,845,563 | 587,937 |
| 組織の活性化を図る活動 | 112,000 | 22,920 | 89,080 |
| 広報活動 | 1,148,000 | 1,130,270 | 17,730 |
| 調査活動 | 292,000 | 151,515 | 140,485 |
| ※地域別内訳 | | | |
| 東京 | 3,158,000 | 2,747,392 | 410,608 |
| 関西支部 | 1,129,000 | 846,511 | 282,489 |
| 九州支部 | 778,500 | 642,385 | 136,115 |
| 運 営 費 | 6,216,000 | 5,238,319 | 977,681 |
| 地代家賃 | 1,040,000 | 1,015,744 | 24,256 |
| 人件費 | 2,400,000 | 1,978,560 | 421,440 |
| コンサルタント費 | 450,000 | 450,000 | 0 |
| 通信費 | 350,000 | 281,461 | 68,539 |
| 交通費 | 750,000 | 579,910 | 170,090 |
| 会議費 | 0 | 7,000 | △ 7,000 |
| 交際費 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 150,000 | 73,950 | 76,050 |
| 保守料 | 190,000 | 130,244 | 59,756 |
| 支払手数料 | 60,000 | 26,520 | 33,480 |
| 水道光熱費 | 80,000 | 66,875 | 13,125 |
| 運賃 | 60,000 | 76,230 | △ 16,230 |
| 賃借料 | 510,000 | 476,280 | 33,720 |
| 租税公課 | 3,000 | 10,400 | △ 7,400 |
| 雑費 | 173,000 | 65,145 | 107,855 |
| 支 出 合 計 | 11,281,500 | 9,474,607 | 1,806,893 |
| 周年行事準備金 | | 500,000 | △ 500,000 |
| 剰 余 金 | 13,016 | 1,897,011 | △ 1,883,995 |
| 合 計 | 11,294,516 | 11,871,618 | △ 577,102 |

貸借対照表

2011年3月31日現在

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債及び剰余金の部 | |
|-------|------------|-----------|------------|
| 現金 | 71,798 | 預り金 | 12,110 |
| 普通預金 | 10,809,775 | 未払費用 | 205,850 |
| 有価証券 | 1,148,344 | 前受金 | 1,892,000 |
| 前払費用 | 81,000 | 基本金 | 7,752,746 |
| 電話加入権 | 72,800 | | |
| 保証金 | 76,000 | 前期繰越正味財産額 | 523,016 |
| | | 正味財産増加額 | 1,873,995 |
| 合計 | 12,259,717 | 合計 | 12,259,717 |

正味財産増減計算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 |
|----------------|-----------|
| I 増加の部 | |
| 1. 資産増加額 | |
| 当期収支差額 | 1,873,995 |
| 2. 負債減少額 | - |
| 増加額合計 | 1,873,995 |
| II 減少の部 | |
| 1. 資産減少額 | - |
| 2. 負債増加額 | - |
| 減少額合計 | - |
| 当期正味財産増加額 | 1,873,995 |
| 前期繰越正味財産額 | 523,016 |
| 期末正味財産合計額 | 2,397,011 |

財産目録

2011年3月31日現在

(単位:円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|--------------------|------------|----------------|-----------|
| I 資産の部 | | II 負債の部 | |
| 1. 流動資産 | | 1. 流動負債 | |
| 現金手許有高 | 71,798 | 未払金 3月給与 窪田久美子 | 132,640 |
| 普通預金 三菱東京UFJ銀行原宿支店 | 10,592,564 | " " 辻村智恵子 | 73,210 |
| " " (関西支部) | 150,398 | | |
| " ゆうちょ銀行 (九州支部) | 10,453 | 前受金 翌期会費 | 1,892,000 |
| " ゆうちょ銀行 (振替口座) | 56,360 | 預り金 源泉所得税 | 12,110 |
| 有価証券 野村証券MMF | 1,148,344 | | |
| 前払費用 事務所家賃金杉きよ子 | 81,000 | 流動負債合計 | 2,109,960 |
| | | | |
| 流動資産合計 | 12,110,917 | | |
| | | | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 保証金 事務所: 金杉きよ子 | 76,000 | | |
| 電話加入権 | 72,800 | | |
| 固定資産合計 | 148,800 | | |
| | | | |
| 資 産 合 計 | 12,259,717 | 負 債 合 計 | 2,109,960 |

監査報告書

定款第32条より2010年度の会務並びに会計につき監査を行った結果、
下記のとおり報告いたします。

記

1. 会務は滞りなく運営され、予算の執行状況は適正である。
2. 現金、預金、有価証券については適正、確実に管理保管されている。
3. 帳簿および証拠書類は正確に記入、保存されている。

2011年4月4日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

監事 林 栄吏子



監事 大場 眞知子

